

平成30年度7月号 [7月17日(発行)]



東風だより

川口市立東中学校
川口市東本郷2-20-47番地
TEL 048-281-4065
特別支援学級 285-2423
さわやか相談室 281-4627
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

修学旅行初日

校長 安部 正 幸

6月18日午前7時20分、修学旅行で京都・奈良に向かう72期生を乗せた新幹線のぞみ205号は定刻通りに東京駅を出発しました。熱海駅を通過した頃、近畿地方で震度6の地震が発生したとの第一報が入りました。新幹線はその後、静岡駅を通過したころから減速をはじめ、掛川駅の手前で停車しました。テロップと車内放送では、復旧には3時間以上かかり、少なくとも午前中は名古屋から先には行けないとの案内がありました。

一番大切なのは正確な情報を収集すること

早速、旅行業者の添乗員に現地の様子を確認してもらいました。私は、現地にすでに入っている川口市の校長先生方と連絡をとりました。その結果、大阪では大きな被害があるものの、京都市内では通常通りの修学旅行が続けられており、特に問題がないことを確認しました。教育委員会と学校には引き返さず、そのまま京都に向かうことを伝えました。(結果的に、埼玉県内の中学校で引き返した学校は1校もなく、むしろ当日帰る予定だった学校の乗る新幹線が運休になり、帰宅も大幅に遅れたそうです。)

多くの人たちに支えられて

奈良へ行くことはあきらめ、新幹線を名古屋駅で下車しバスで京都に向かうことを決断しました。旅行業者に昼食の弁当約180食と、京都までの観光バス5台を名古屋駅に手配するよう急遽頼みました。新幹線が名古屋に着いたのは、すでに正午をまわっていました。正直、このような無茶な要求が受け入れられるか心配でしたが、名古屋駅に着くと間もなく観光バスが京都から迎えに来ました。そしてお弁当屋さんが、バスのところで待機していて、生徒一人一人にお弁当を手渡してくれました。バスは順調に東名阪道と新名神高速を走り途中休憩を入れながら、おおよそ2時間30分で京都に着きました。京都では旅館の従業員の方達が大勢で出迎えてくださいました。徒歩で旅館へ移動する途中の交差点には、一人一人が立ってくださり、生徒達の安全を確保してくれました。そして、奈良に行かなかった分、旅館には予定より1時間30分早く到着することができました。

私は今回で生徒を引率して行く修学旅行は15回目になりました。その中で、これほど多くの人たちが、生徒にとって一生に一度の修学旅行を成功させるために動いてくださった旅行は初めてでした。急な変更にも動じず、整然と行動した72期生の皆さんも見事であったと思いますが、自分たちの修学旅行が、多くの人たちの支えがあって成功したことを忘れず、それらの人たちへの感謝の気持ちも持ち続けて欲しいと思っています。今回は多くの保護者の皆さんにもご心配をおかけしました。引率の先生方には、できるだけ多く笑顔の写真をホームページに掲載するよう指示しました。おかげさまで、修学旅行中の3日間で3万件を超えるアクセスをいただきました。ありがとうございました。